JCP With You

山本りか 県議会通信

2022・1・1　第41号　　発行：三重県議会・日本共産党

リニア中央新幹線　悪夢？の超特急

そんなに急いでどこへ行く

12/2 一般質問 その①

中央リニア新幹線の三重県駅の候補地として亀山市が3つの候補地を提案しました。調査研究をして一つに絞られていくことになっています。

三重県は、強力に大阪までの延伸を要望しています。東京＝名古屋間では、事故も発生しており工事も止まっています。

山本りか県議は、リニア中央新幹線の抱える諸課題に対する一見勝之知事の考えを聞きました。

山本りか県議は、財政投融資税金投入)も含めた工事費が膨れ上がり、自然環境や生態系・景観の破壊、大深度地下工事の危険性や残土などの課題を列挙。JR東海の経営の中で「環境・安全問題への取り組みが優先されていないのではないか」と指摘しました。

一見勝之知事は「リニアは三重県の成長に大きな役割を果たす。環境面でも優れている。南海トラフ発生時は、リニア駅の設置される亀山は大丈夫だろう。航空機に比べて電力消費はずいぶん少なく、今後再生エネルギーの活用へ転換していけば問題はない」などと強弁しました。

山本りか県議は「果たして、どれだけの人が利用するのか。災害・事故・事件時に地域の消防や警察で対応できるのかについての問題や、電力消費量が東海道新幹線の3倍にも上り、県のカーボンゼロを目指すことにも反する。東日本大震災・原発事故、新型コロナ感染症を経験し、『より早く・より遠く・何が何でもたくさん』から、『よりゆっくり・より近くを丁寧に大切に』という本来の地方創生へ、また『安全神話』はもうない。国策の夢を振りまいた事業に乗り、これまで手痛い思いを重ねてきた三重県だ。夢を見るのはいいが夢から覚めたら悪夢だったではすまされない。リニアは立ち止まって考えるべき」と訴えました。

リニアは持続不可能で理に合わん

12/2　一般質問　その②

山本りか議員　公園の木を切るのは「脱炭素」にも反する。サッカーチームへの応援は他の方法で。

山本りか県議

鈴鹿青少年の森の一部を鈴鹿市に無償で貸し、さらに鈴鹿市が民間チームに貸しサッカースタジアムを作る計画がある。説明会で運営会社社長は「未利用地」を借りたとの発言があった。多くの利用があり親しまれている場所を県は未利用地という認識で貸し出したのか。

契約が終り返してもらう時、破綻した時の原状回復は大変難しいと思われる。切ってしまった木は元に戻らない。その責任の所在は？

県土整備部理事

「未利用地」ではない。そのことは相手方に伝えた。契約は10年（更新可）。協定の相手は鈴鹿市なので原状回復は鈴鹿市の責任となる。

＊ご相談・ご意見・ご要望はこちらへ＊

三重県議会内
日本共産党控室
☎ 059-224-3302
日本共産党　北勢地区委員会
四日市市新正4 - 21-11
☎ 059 - 351-8184

お気軽に相談を